

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【公開番号】特開2007-113116(P2007-113116A)

【公開日】平成19年5月10日 (2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2006-259938(P2006-259938)

【国際特許分類】

C 2 2 B 3/18 (2006.01)

C 2 2 B 11/00 (2006.01)

C 2 2 B 23/00 (2006.01)

C 2 2 B 47/00 (2006.01)

C 1 2 P 3/00 (2006.01)

【F I】

C 2 2 B 3/00 F

C 2 2 B 11/00 1 0 1

C 2 2 B 23/00 1 0 2

C 2 2 B 47/00

C 1 2 P 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月25日 (2009.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鉄還元細菌を作用させ、3価鉄を2価鉄に還元し、

前記2価鉄を用いて、金属酸化物および金属水酸化物からなる群に含まれる金属を浸出させ、浸出液と残渣を生成し、

前記浸出液と残渣とを分離し、所望の金属を回収する金属回収方法。

【請求項 2】

前記所望の金属が、コバルト、ニッケル、マンガン、鉄、亜鉛および鉛からなる群から選ばれる1種以上の金属である請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

前記所望の金属が、白金族金属類からなる群から選ばれる1種以上の金属である請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

鉄還元細菌を作用させ、

白金族金属類からなる群から選ばれる1種以上の金属イオンを含む液から、前記金属イオンを直接還元して、金属を回収する金属回収方法。

【請求項 5】

前記鉄還元細菌が、シワネラ アルゲである請求項1ないし4のいずれかに記載の方法。

